臨床研究中核病院

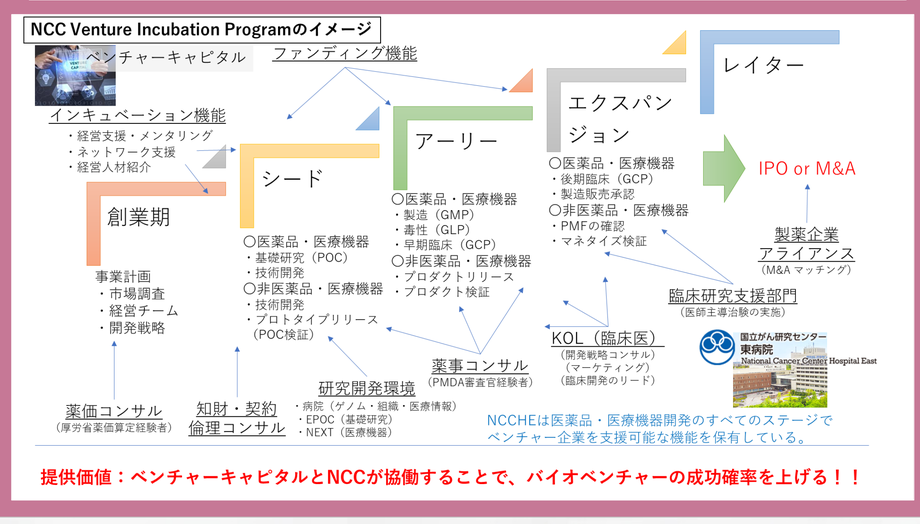
国立がん研究センター東病院

国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

特色・アピールポイント！

- VCとの連携による事業化視点での実務的なインキュベーションプログラム
- 日本トップの治験実施実績を有する臨床研究支援部門による治験実施体制
- 医療ニーズと外部シーズのマッチングを推進し、革新的プロジェクトを創出

Venture Incubation Program



起業人材育成

NCC発スタートアップ

ASAHI SURGICAL ROBOTICS

Jmees

Surg storage

1. Venture Capitalと連携したインキュベーションプログラムを運営

NCC-VIP
Venture Incubation Program

- NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、革新的医療技術の実用化を促進する。
- NCCの支援機能に加え、VCの持つ経営支援機能を補完的に組み合わせることで、がんの革新的医療技術の実用化を目指すスタートアップの成功確率を上げる。

2. 臨床研究支援部門による支援内容

- がんの診断から治療まで、多岐にわたる領域のKOLによるアドバイス
- PMDAや製薬企業、医療機器メーカー出身者などによる多角的な支援
- PMDAとの相談や治験・臨床研究のプロトコル立案の支援
- 連携するVCによる事業化コンサルティング

3. 支援実績

- NCC-VIPの支援実績
  2024年度 8チーム（医薬品：7社、医療IT：1社）を支援中
  2023年度 5チーム（医薬品：3社、医療機器・医療IT：2社）を支援
- 起業を目指す医師とエンジニアとビジネスパーソンの人材育成プログラムの参加者
  2023年度 57名　2022年度 38名　2021年度 36名
- NEXT医療機器開発センターによる人材育成
  臨床現場観察プログラムの参加者：307人（2023年度実績）

4.ベンチャー支援の流れ

窓口受付

- シーズの概要や相談内容をベンチャー支援窓口にご連絡ください
- 窓口：ntakeshi@east.ncc.go.jp / asato@east.ncc.go.jp

初回相談（無料）

- 臨床研究支援部門の担当者が具体的な相談内容をお伺いします
  佐藤 暁洋（臨床研究支援部門長）
  布施 望 （臨床研究支援部門 研究企画部長・薬事管理室長）
  竹下 修由（臨床研究支援部門 スタートアップ支援室長）

本相談

共同研究

- 共同研究として進める場合、医師・統計家・PMDA経験者・製薬企業出身者などの各種専門家がコンサルテーションを行いながら支援します
  - 治験を見据えたTR研究の取り組み
  - 治験プロトコールの作成
  - PMDAとの面談に向けた助言

5.支援実績例

株式会社Medseed

- エンジニアのシーズと国立がん研究センター東病院の医師のニーズをマッチング
- AMED「若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業」、「医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靭化事業（基盤技術開発プロジェクト）」に採択

私は大学や医療機器メーカーで研究開発を行い、自らが有する新規シーズが最も活かされる医療機器を探していました。
国立がん研究センター東病院の医師は新しい技術に対して非常に関心が高く、意見交換を通じてシーズの活かせる領域を見出すことができました。
また、起業経験者も多く、起業を支援する環境が整っており、新規シーズの医療機器開発に最適な場だと感じています。

代表取締役社長
吉田　泰之

株式会社Jmees

- 「内視鏡手術支援プログラム SurVis-Hys」を共同開発し、医療機器承認を取得
- AIによって大腸内視鏡検査の前処置の排便性状を自動判定する「ナースコープ」を共同開発

国立がん研究センター東病院の臨床の先生方とチームとして開発できる環境は、開発のスピードアップのみならず医療機器としての臨床的有用性の確保に繋がりました。

『SurVis-Hys』

『ナースコープ』

代表取締役CEO
松崎　博貴

お問い合わせ先
国立がん研究センター東病院　担当：竹下修由、佐藤暁洋
電話番号:04-7133-1111
メールアドレス: ntakeshi@east.ncc.go.jp / asato@east.ncc.go.jp